

平成18年度 予算の執行状況ー2月28日現在ー

平成18年度予算は、前年度からの繰越額と12月補正までを含む2月28日現在で、総額で572億8850万円となります。このうち一般会計は347億9480万円です。

歳入の執行率は、77.1%です。国・県支出金と市債の執行率が低いのは、対象となる事業が完了した後（年度末）に交付などがあるためです。

歳出の執行率は72.0%です。土木費の執行率が低いのは、工事の完了や用地取得の時期が年度末になるものが多いからです。公債費は、年2回の償還の後期分が3月になるため、執行率が低くなっています。

なお、一般会計年度内に歳計現金が不足した場合にそれを補うために借り入れる「時借入金」の現在高は、2月28日現在ありません。

款	予 算 現 額	収 入 済 額	執 行 率 (%)
市 税	210億2,424万円	198億2,454万円	94.3
地 方 譲 与 税	11億8,200万円	6億6,201万円	56.0
交 付 金 等	22億254万円	18億985万円	82.2
地 方 交 付 税	8,000万円	263万円	3.3
分担金及び負担金	3億6,908万円	2億6,084万円	70.7
使用料及び手数料	3億2,633万円	3億994万円	95.0
国 庫 支 出 金	43億134万円	14億1,937万円	33.0
県 支 出 金	13億3,117万円	6億8,813万円	51.7
財 産 収 入	1億176万円	1億954万円	107.6
寄 附 金	4,485万円	4,350万円	97.0
繰 入 金	1億3,897万円	1億3,735万円	98.8
繰 越 金	13億9,250万円	13億9,250万円	100.0
諸 収 入	4億9,692万円	1億7,507万円	35.2
市 債	18億310万円	0円	0.0
合 計	347億9,480万円	268億3,527万円	77.1

款	予 算 現 額	支 出 済 額	執 行 率 (%)
議 会 費	2億9,460万円	2億6,851万円	91.1
総 務 費	43億4,501万円	34億1,945万円	78.7
民 生 費	91億7,355万円	76億6,473万円	83.6
衛 生 費	26億8,151万円	23億1,294万円	86.3
労 働 費	2億4,051万円	2億2,266万円	92.6
農 林 水 産 業 費	2億4,372万円	1億7,548万円	72.0
商 工 費	2億1,685万円	1億9,446万円	89.7
土 木 費	83億9,435万円	46億9,148万円	55.9
消 防 費	19億7,828万円	14億6,819万円	74.2
教 育 費	44億7,937万円	33億6,737万円	75.2
災 害 復 旧 費	1,000万円	0円	0.0
公 債 費	26億8,429万円	12億7,879万円	47.6
諸 支 出 金	350万円	0円	0.0
予 備 費	4,926万円	0円	0.0
合 計	347億9,480万円	250億6,406万円	72.0

会 計 名	予算現額A	歳 入		歳 出	
		収入済額B	執行率B/A (%)	支出済額C	執行率C/A (%)
国民健康保険事業	104億7,853万円	82億6,905万円	78.9	82億3,435万円	78.6
下 水 道 事 業	36億7,835万円	27億9,936万円	75.0	21億1,366万円	57.5
老人保健医療事業	46億430万円	40億6,693万円	88.3	39億1,413万円	85.0
介護保険事業	37億3,252万円	31億9,855万円	85.7	28億7,968万円	77.2
合 計	224億9,370万円	182億9,389万円	81.3	171億4,182万円	76.2

〔市債の現在高〕

会計	区 分	現 在 高
一 般 会 計	総 務 債	26億8,285万円
	民 生 債	3億5,471万円
	衛 生 債	6億8,034万円
	土 木 債	74億5,844万円
	消 防 債	3億5,030万円
	教 育 債	20億9,959万円
	住民税等減税補てん債	45億7,216万円
特 別 会 計	臨時財政対策債	43億3,711万円
	合 計	225億3,550万円
	国民健康保険事業	
	保険財政自立支援貸付金	7,800万円
	下水道事業	
	公 共 下 水 道 債	132億3,663万円
	流 域 下 水 道 債	27億366万円
合 計	小 計	159億4,029万円
	合 計	160億1,829万円

〔基金の状況〕

基 金 名	現 在 高	備 考
財 政 調 整 基 金	21億3,273万円	現金・債券
奨 学 金 基 金	1億1,082万円	現金・債券
まごころ基金	5,119万円	現 金
みどり基金	600万円	現 金
市営住宅建設基金	2億2,245万円	現金・債券
新まちづくり基金	42億22万円	現金・債券
国民健康保険財政調整基金	1億8,058万円	現 金
介護保険給付費等準備基金	2億4,967万円	現金・債券
合 計	71億5,366万円	

〔市有財産〕

(単位:㎡)			
区 分	土 地	建 物	
行 政 財 産	市 庁 舎	17,022.46	15,878.50
	消 防 施 設	12,712.56	5,485.61
	学 校	343,663.13	115,415.55
	公 営 住 宅	15,680.58	4,071.44
	保 育 園	9,232.48	2,257.64
	児 童 館	2,043.84	580.45
	公 民 館	0.00	1,866.25
	公 園	363,134.43	21,004.36
	その他の施設	161,052.83	59,120.09
	小 計	924,542.31	225,679.89
普 通 財 産 ※	田	812.85	0.00
	畑	4,264.30	0.00
	宅 地	20,384.23	0.00
	雑 種 地	9,274.95	0.00
	その他の地目	7,077.67	0.00
	建 物	—	459.39
	小 計	41,814.00	459.39
合 計	966,356.31	226,139.28	

注) ※は建物以外、公簿地目で分類

平成19年度予算

新たなまちづくりに向けて

市民一人当たりの予算「280,823円」の使いみち

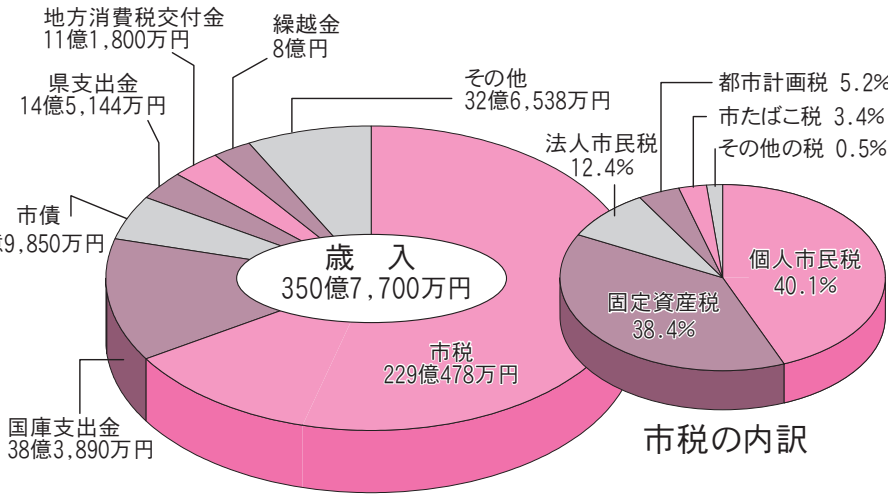
福祉・社会生活保障に	(26.6%)	74,607 円
道路・公園・計画的なまちづくりに	(20.8%)	58,503 円
学校や生涯学習に	(15.8%)	44,451 円
行政の運営に	(12.5%)	35,208 円
保健・ごみ処理などに	(7.6%)	21,277 円
市債の元金や利子の償還に	(7.6%)	21,211 円
火災・救急に	(5.5%)	15,422 円
議会の運営などに	(0.8%)	2,383 円
雇用対策などに	(0.7%)	1,921 円
商工業の振興などに	(0.7%)	1,897 円
農業・園芸の振興などに	(0.7%)	1,840 円
基金の積み立てなどに	(0.6%)	1,703 円
予備に	(0.1%)	400 円

※平成19年1月1日現在の人口124,908人で算出
割合は小数点第2位以下四捨五入で算出

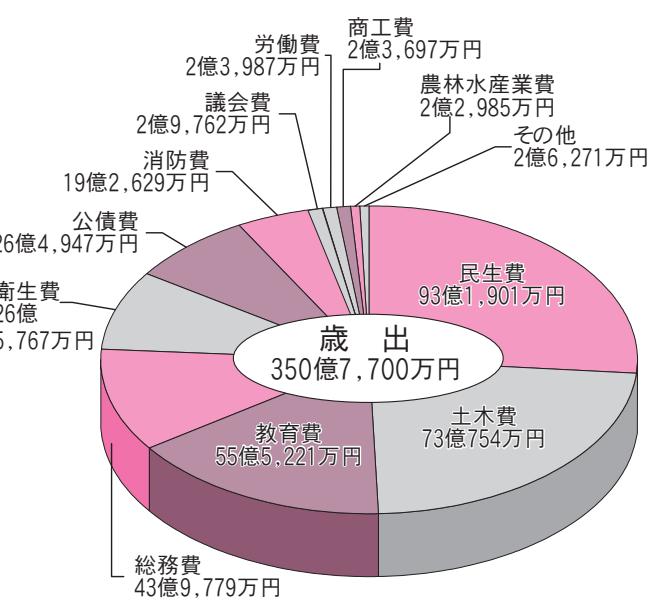
財産などの状況

ー2月28日現在ー

平成 19 年度一般会計



市税の内訳



歳入のうち、最も大きな割合を占めているのが、市税の229億478万円です。対前年度比は金額で24億8987万円（率では12.2%）の増となりました。これは税源移譲や税制改正、企業業績の向上などによるものです。

●都市ブランドの創出
市の魅力を「フイールド（可能性・場）」という言葉を用いて表し、市には多くの魅力的なフイールドがあることを発信します。今年度は、計画策定と一部試行を行います。

●学校周辺道路の安全対策
交通事故から子どもを守るため、通学路の路側帯をカラー舗装します。

●東柏ヶ谷小学校の増改築
児童数増加による教室不足と児童の安全確保のため、校舎南棟の増改築工事・北棟トイレの改修工事を行います。

歳入

平成19年度一般会計予算は350億7700万円。前年度と比較して、4.7%増となっています。今年度は、さがみ縦貫道路関連の道路増改築事業などにより、普通増建設事業費の伸びが顕著になっています。また、市の今年度のテーマである「大好き 海老名 子ども」の年々「元氣なえびなっ子」の関連事業にも重点を置いています。

歳出

歳出予算を目的別に見ると、最も大きな割合を占めているのが民生費の93億1901万円です。対前年度比は金額で2億6661万円（2.9%）の増となります。これは、生活保護費が削減に転じる見込みであるものの、児童手当などの増が見込まれるほか、国民健康保険事業などへの繰出金が増加しているためです。2番目として土木費の73億754万円で、対前年度比は金額で3億6221万円（4.7%）減となっています。これは、鉄道立体整備事業や中新田鍛冶浜線整備事業費の減などによるものです。

今年度は、平成20年度から第四次総合計画が円滑にスタートできるよう、「新総合計画への橋渡しの予算」と位置付けて、当面する諸課題に真正面から取り組みます。また、17年度から導入した包括予算制度や、事務事業評価により、既成事業の徹底した見直しを行うことで、財政健全化路線を継続します。

主な事業の概要

●防災拠点となる施設を設置し、安全安心な環境づくりを推進します。

●借上型市営住宅の整備
公営住宅としての安定供給を図るため、民間活力を導入した公営住宅整備を行い、安全で快適な居住環境の維持保全を図ります。

●消防署北分署の整備
耐震強度が低い消防署北分署を建て替えることにより、北部地区の消防防災の拠点を充実し、消防力の強化を図ります。今年度は設計を行います。

●病後児保育の実施
病気の回復期にあつて、集団保育を受けることができない保育所入所児童などを一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全育成を図ります。

●外国語教育の推進
年間5人の外国人英語助手を派遣し、英語を通じた実践的コミュニケーション能力の基礎を養い、国際文化への関心や理解を深めます。中学校は1クラス当たり15時間、小学校高学年は年間10時間、中学年・低学年は年間5時間の授業を実施します。

●教育指導体制の確保
学校・学級運営上必要となる代替教員等を市費により採用し、円滑な教育課程の進行を図ります。

●市民農園の整備
市民の余暇活動などの多様化に伴う農業体験機会の提供と遊休農地の有効活用のため、市民農園整備を促進します。

●道路の新設改良
「さがみ縦貫道路・海老名北インターチェンジ」の、平成21年度開設（予定）に伴う交通量の増加に対処するとともに、交通の分散化を図り、住環境の改善・維持を図るため、道路の新設

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置

●老若男女自由通路（小田急・相鉄駅舎部）の整備
22年度完成を目標に、バリアフリー対策としてエレベーターを設置するなど、誰もが安心して利用できる駅を目指し、整備を進めています。

●防犯拠点施設の整備
相鉄線さがみ野駅前、交番が設置されるまでの措置